

第2回 南大沢保健福祉センター施設利用者説明会

日 時 令和5年(2023年)10月2日(月) 午前10時から11時

場 所 研修室

参加者 施設利用者(浴室利用者を含む) 9名(男5・女4)

事務局 4名

事務局より説明会資料に沿って説明。(略)

【説明会の中で出た質問・意見】

(ご質問)浴室廃止後は、高齢者向けの施設ではなく子ども向けの施設が入ってくるのか。

(回 答)浴室廃止後は、高齢者の方も使える相談室を増設する予定です。浴室に充てていた財源や人的リソースを、健康寿命延伸のための健康増進施策に充ててまいります。

(ご質問)カラオケ、将棋、踊りなどの個人利用について、コロナ以降南大沢保健福祉センターの利用者は少なくなっている。大横保健福祉センターの利用者はコロナ前の人数に戻っている。南大沢保健福祉センターはどのように考えているか。

(回 答)コロナ以降は3館とも利用者数は減っていますが、その中でも大横保健福祉センターが一番利用者が戻ってきていることは把握しております。南大沢保健福祉センターにつきましても、以前のように憩いの場を開放していますので、コロナ前の利用者数に戻ってきて欲しいと考えております。

(ご質問)浴室の利用希望人数が38人だから廃止になるのか。他に低いものも廃止になるのか。

(回 答)今回のアンケートは施設利用者のニーズ調査となります。施設利用者のニーズが一番低かったのが、浴室であり、一番ニーズが高かったのが、健康増進に関する取り組みです。現時点で他にニーズが少なかったカラオケやスカイウエルにつきまして、廃止ということは考えておりません。

(ご質問)子ども将棋についてはどう考えているか。

(回 答)子ども将棋についても実施したいと考えており、現在、関係団体の皆様と調整をしております。

(ご質問)浴室廃止の代わりにスーパー銭湯の割引券などをもらえたりはしないか。

(回 答)銭湯の割引券につきましては、市としてはプレミアム入浴券がございます。

当館としては、憩いの場としての浴室に代わり、健康寿命延伸のための健康増進の講座などにご参加いただきたいと考えております。

(ご質問) サロン活動を運営している人たちが固定化しておりトップの座を譲らない。新規の人が入りづらい独特の雰囲気がある。そのような既存のグループに対してのアプローチをするだけでなく、これから新規で集まれるグループを作れるよう支援をしてほしい。集合住宅や自治会に対して市から積極的に働きかけてほしい。

(回答) 出前講座などのアプローチでは、限られている職員の中で、健康増進のためのきっかけづくりのお手伝いをしております。新たなグループを作っていただくことで、きっかけづくりのお手伝いをすることができますし、活動を最終的には地域の方に担っていただき、継続性をもって健康づくりに取り組んでいただきたいという考えでございます。